

日野川水系大規模氾濫時のタイムライン 第11回検討会 議事概要

日時：令和6年12月4日（水）10:00～11:40

場所：日野川河川事務所 別館2F 会議室

WEB会議形式（Teams）

【出席者】

- ・米子市 防災安全課、上下水道局
- ・鳥取県 河川課、西部広域行政管理組合消防局
- ・福祉施設 なんぶ幸朋苑、よなご大平園
- ・ライフライン 中国電力ネットワーク（株）
- ・通信インフラ NTT西日本（株）鳥取支店
- ・気象庁 鳥取地方气象台
- ・国土交通省 日野川河川事務所

【議事概要】

進行：日野川河川事務所 河口流域治水課長

1. 開会挨拶（鳥取大学 三輪教授）

- ・昨年は台風第7号により、千代川水系の佐治川で大きな被害が発生した。
- ・今年は幸い日野川では大きな被害やタイムラインのレベルが高くなることは無かったが、災害はいつ起こるかわからない。
- ・近年、気候変動によって大雨が起きる可能性が高くなるため、その対応としてもタイムラインは有効だと思う。
- ・日野川水害タイムラインは、これまでシステムの見直し等、少しずつ改善を繰り返して運用してきた。
- ・本日は、事前にお願ひした出水期振り返りアンケートの結果を踏まえて意見交換を行う。
- ・タイムライン関係機関がどのような対応を取っているかお互いに知ることが重要と思う。本日は忌憚のないご意見を頂きたい。

2. 令和6年度の振り返り

（1）令和6年度のタイムライン発動状況（日野川河川事務所 木村水防企画係長）

- 令和6年度のタイムライン発動回数、レベル到達状況を説明。

（2）11月2日の大雨について（鳥取地方气象台）

- 日野川で今年一番の大雨となった、11月2日の大雨における気象状況、地球温暖化による影響の可能性を説明。

3. 事前アンケート結果（パシフィックコンサルタンツ㈱）

- 令和6年度出水期振り返りアンケートの結果と、結果を踏まえた対応内容を説明。

4. タイムラインの改善に向けた意見交換（同上）

- 振り返りアンケート結果を踏まえ、タイムラインの改善の方向性について以下4つのテーマで意見交換を実施。
 - （1）11月1日～11月3日の大雨について
 - （2）情報統制に関する工夫
 - （3）危機感共有定例会、ウェビナーの有効活用に向けて
 - （4）流域一元画面の運用について

5. 連絡事項、質疑応答（日野川河川事務所 木村水防企画係長）

- 「日野川水害タイムライン（令和6年度版）」の意見照会について
- 参画機関とメーリングリスト登録アドレスの確認について

6. 講評（鳥取大学 三輪教授）

- ・ 本日の検討会では、振り返りアンケートの結果を踏まえて、次の改善に活かすことができたと思う。
- ・ 意見を全て出すことは難しかったと思うが、随時事務局へ連絡をいただければ対応を検討させていただく。
- ・ 今年度実施した、危機感共有定例会やウェビナーの効果が確認出来て良かった。ご意見を踏まえて改善し、来年度も継続していただきたい。
- ・ 情報提供システムの流域一元画面は、流域全体を見る立場からは効果的だと思う。
- ・ その反面、出水時には情報が多くなるため、情報の発信側はその必要性を改めて考え、受信側は公的に情報を収集・整理する方法を考えることでより効果的な情報共有ができると思う。
- ・ 流域全体の俯瞰と、個別の情報の入手を両立できるような形になると良い。